

那須平成の森では、日々のガイドウォークや、施設内カウンターなどで、様々なお客様との出会いがあります。その中で特に記憶に残る、忘れられないようなエピソードを、インタープリターがイラストとともにご紹介♪

「みんなで見上げた星空」



この夏関わった「親子で森の宿泊体験」での出来事が印象に残っています。このプログラムは初の宿泊型。日中は那須平成の森で活動し、夜は近隣の宿泊施設を利用する1泊2日で実施しました。期間中は森や水辺で様々な自然体験を行いました。その中で夜の森の時間を担当した際のこと。

まだ薄暗い内から歩き出し、目が暗闇に慣れてきたタイミングで見晴らしの良い展望台に到着。そして見上げた満天の星空！幸運なことに快晴で、新月が近かったことも相まって、夜空一面に広がる星・星・星。ときどき流れ星。片隅に三日月。暗い中でも参加者の皆さんがドキドキしていることが伝わってきて、インタープリター冥利に尽きるひとときでした。夏が来る度思い出しそうです。(菅原)

「人生の転機」

館内カウンターでは日々、お客様に様々な案内をしています。その中でも自分が印象深かったことは、高校生の男の子に声をかけられた時のことでした。何でも彼は将来ビジターセンター等への就職を考えているとのことでした。そこで今年の春に入ったばかりの自分が一番近い立場かと思い、専門学校に通いながらインターンシップ等を通し、類似施設で経験を積んだことを伝えました。

それからしばらくして、ご家族が再び来園されました。その子は早速学校見学へ参加し、気になることを確認するのに役立ったと報告してくれました。まさか自分のカウンターでの対応が、大学選びという人生の重要な場面に関わってくるとは思わず、一期一会というものを感じました。(檜山)



「自分の命は自分で守る」

先日の電話での質問です。

「朝日岳から三本槍まではどれくらいかかりますか？」

「北温泉分岐からスキー場分岐までは？」

容赦ない細かい質問にその都度答えていた私にふと疑問が。

「お客様は地図を持っているのですか？」。すると「持っていません」とのお答え。

私は「山を歩く時には地図を持って、標高や等高線を確認して、ここは急だとかガレ場だとかをご自分で理解しておかないと。他人から聞いた情報を信用するのは危険ですよ」。すると「あ、う、地図ってどこに売っているんですか？」。

「本屋さんには売っていますよ」。最近の方は、登山地図がどこに

売っているのかも知らないのかぁと50年以上生きて私は

驚きましたが、これが現実なのね。自然をなめてはいけません。

自分の命は自分で守る。これ、基本です。(若林千)



夏のプログラム実施しました

8月



「夏休み！親子で森の宿泊体験」

那須平成の森で初めての宿泊プログラムは通常プログラムと比べ、長く自然の中に身を置くことができます。開始直後にあった参加者の緊張も、森へ出かければあっという間に打ち解け、家族間を超えてわいわいと楽しく活動できました。近くのロッジに宿泊し、みんなで作った夕食のカレーはとても美味しく、夜のお散歩で見た星空は素晴らしかったです。

※星空エピソードは当通信左面コラムをご覧ください♪

翌日も真夏日の晴天で、沢の水の気持ちよさは倍増！白戸川の清流では様々な水生昆虫を見つけることができました。皆さんそれぞれに新たな発見、感じ方があったようで、そんな2日間を共に過ごせたことが、私にとってもひと夏の思い出となりました。(中島)

8月



「親子で自由研究！チョウチョの『はね』図鑑」

チョウチョの翅の模様を、皆さんはじっくりと観察したことはありますか？種類によって様々な模様には、どんな生きる知恵があるのだろうか。それらを知って欲しいと思い実施しました。まずは野外で、参加者と一緒にチョウを採集。その後、室内にて、気に入ったチョウの翅を図鑑や本物を観察してスケッチしていき、余白には気づいたことなどを自由に書き込んで、自分だけのオリジナル図鑑の完成！

参加者からは「模様に擬態や威嚇の役割があることを知り驚いた」と、チョウの生きる工夫について実感して頂けました。(西垣)

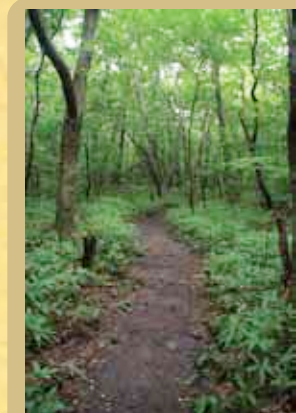


その②

「自由に歩ける森の散策路、植物の変化」に注目！

那須平成の森の中で、自由に散策できる「ふれあいの森」。そこに調査用のルートを設定し、月に一回歩きながら咲いている花を調べています。ルート上には、①周りを木々に覆われている森の道と、②木に覆われず開けた管理道があります。もともと御用邸の敷地で、人の立ち入りが限られていたエリアですが、現在は年間約5万人のお客様が来られる、外的な影響を多く受ける森です。調査結果から、②では外来種がいくつか観察でき、特にフィールドセンターや駐車場に近い所で多く見られました。ですが、①では外来種はほとんど見られません。豊かな森が陰となり、新規の植物が生えにくくなっているのでしょうか？

また今年の7月21日には、以上の調査を来園者と一緒に行いました。「植物の名前や、観察のポイントがわかってよかった」「名前だけではなく、特徴の意味や、他の生物との関係、森での役割などが知れて興味深かった」などの声があり、参加者の植物に対する視野を広げることができたのではと感じました。(丸子)



①周りを木々に覆われている森の道



②木に覆われず開けた管理道



参加者と一緒  
調査を実施